

12

藻類 (淡水産)

12 藻類（淡水産）

池や河川などの淡水域に生育する藻類は、「淡水藻類」と呼ばれ、海域に生育する「海藻類」と区別される。淡水藻類には、緑藻、珪藻、渦鞭毛藻、藍藻（シアノバクテリア）、その他多くの分類群が存在し、系統的には、生物界全般に広く分散する多系統の集合であるが、光合成を行う一次生産者である点で共通性を持つ。藻類の生物体は、海藻のワカメやコンブなどのように大型の多細胞性のものや、クロレラのように顕微鏡を用いないと確認できない微小な単細胞性のものまで、大きさや体制も様々であるが、淡水藻類では大型種は少ない。目視で確認できない微細な藻類は、環境省のレッドリストにおいて対象外とされており、広島県 RDB でも藻体あるいは群落が肉眼で確認できる大きさのものを対象としている。このため、水草のような藻体を形成するシャジクモ類やフラスコモ類が選定種の大半を占めるリストとなっている。

今回の改定では、2011年の第3版で選定した29種（絶滅危惧Ⅰ類：1種、準絶滅危惧：11種、要注意種：17種）から、3種の追加と数種のカテゴリー変更により、32種（絶滅危惧Ⅰ類：1種、絶滅危惧Ⅱ類：2種、準絶滅危惧：13種、情報不足：16種）が選定された。広島県の淡水藻類のRDB種に関しては、大規模な調査は行われておらず大幅な進展はないものの、新たな情報は少なからず集積し、DNAバーコーディングをはじめとした、遺伝子解析による種の特定のための技術の進展も特記される。今回の改訂にあたっては、オウシャジクモ、ホソカワモズク、イトシャジクモ、フラスコモダマシなど、種の同定に際して遺伝子情報が参考となったものもある。なお、県内での産地が確認されながら掲載保留としたフタマタフラスコモは、分類学的検討が不十分であり、今後の遺伝子解析等による分類学的研究の進展が望まれる。

広島県では、ため池、水路、水田、休耕田など、淡水藻類はもちろん、多様な水生生物の生育地として適した環境が豊富で、今後の調査研究により、さらにRDB種の産地や種数は増えるものと考えられる。しかし、ため池に関しては、2018年7月豪雨を契機に災害対策の一環として、広島県から「ため池の整備・廃止・管理等に関する方針」が打ち出された。これによると、県内の約19,600の農業用ため池のうち約5,000か所について、貯水機能の廃止あるいは廃止工事が進められようとしている。これらのため池に生息・生育する生物について調査や対応が行われないうままため池が消失した場合には、RDB種を含めた生物多様性や、生態系全体への影響はきわめて大きいと想定される。ため池の廃止にあたっては、切開や底樋の開放による完全な落水、あるいは埋め立てではなく、堤防の切り下げなどにより浅い冠水部分を残すことで、藻類のみならず、ため池に依存していた生物が生き残るための環境は維持され、さらには新たな種や湿原に類する生態系の回復も期待される。ただし、一方では環境の変化に伴う外来種の繁茂や害虫の発生等も懸念される。これらのことから、ため池の廃止や改変にあたっては、生態系の調査や改変後のモニタリングも含めた、適切で総合的な対応が望まれる。

（半田信司）

藻類（淡水産）選定種

絶滅危惧Ⅰ類（CR+EN）	準絶滅危惧（NT）	5 チャボフラスコモ
1 チスジノリ	1 オウシャジクモ	6 ジュズフラスコモ
絶滅危惧Ⅱ類（VU）	2 ヒナフラスコモ	7 ミルフラスコモ
1 オウシャジクモ	3 イトシャジクモ	8 ヒメフラスコモ
2 ヒナフラスコモ	4 カタシャジクモ	9 キヌフラスコモ

- 10 ニッポンフラスコモ
- 11 セイロンフラスコモ
- 12 ホンフサフラスコモ
- 13 ハデフラスコモ

情報不足 (DD)

- 1 オオイシソウ属
- 2 ツマグロカワモズク
- 3 ホソカワモズク
- 4 カワモズク属
- 5 ケナガシャジクモ
- 6 コイトシャジクモ
- 7 トガリフラスコモ
- 8 ジュズフサフラスコモ
- 9 ミキフラスコモ
- 10 ホソバフラスコモ
- 11 キヌイトフラスコモ
- 12 フラスコモダマシ
- 13 サキボソフラスコモ
- 14 ミゾフラスコモ
- 15 ミノフサフラスコモ
- 16 サイトウフラスコモ

チスジノリ 絶滅危惧 I 類(CR+EN) CR+EN-①

Thorea okadae Yamada
紅藻綱 チスジノリ科

環境省: VU
広島県 2011: CR+EN
広島県 2003: CR+EN

概要	藻体は暗赤紫色の紐状で、長さは約 1 m またはそれ以上になる。主軸が基部より数本伸び、小枝が密に出る。国内では、那珂川（茨城県）・備前堀川（埼玉県）・安室川（兵庫県）・関川（広島県）・九州各地（福岡県・熊本県・宮崎県・鹿児島県）から報告されている。河川中流域の石や礫、人工基質に生育するが、流速や水質・水深・水温の影響で生育範囲がきわめて狭い。日本固有種。
生息・生育状況	太田川支流の関川(東広島市)で 1986 年に確認されて以来、現状不明であったが、近年同地点で再確認されたことが 2009 年に報告された。
存在を脅かす要因・保全の留意点	土地利用の変化にともなう水質の悪化や河川工事等による河床形態の変化、水量の減少などにより、消失する恐れがある。
特記事項	—
産地情報	東広島市（志和）

佐藤裕司・杉野伸義・宮田祥史 2009. 広島県東広島市・関川（太田川水系）における淡水産紅藻チスジノリの生育状況. 人と自然, 20:129-132.

熊野 茂 2000. 世界の淡水産紅藻. 395 pp. 内田老鶴圃, 東京.

(半田信司・溝渕 綾)

オウシャジクモ 絶滅危惧 II 類(VU) VU-②

Chara corallina Klein ex Willd. var. *corallina*
車軸藻綱 シャジクモ科

環境省: CR+EN
広島県 2011: NT
広島県 2003: DD

概要	藻体は 50 cm まで生長する。外見はシャジクモに似るが、雌雄両器が小枝の節のみならず小枝基部にも群生し、小枝末端が普通 1 細胞であることで識別される。主軸の太さは 1 mm 程度で、皮層や棘細胞をもたない。托葉冠や苞はやや退化し小型。アジア・オーストラリア・アフリカに分布し、日本では青森県以南の各地に生育する。生育環境は、比較的透明度の高い湖沼やため池で、最近の調査では過去に記録された多くの産地で生育が確認されていない。また、オオシャジクモともいう。
生息・生育状況	広島市中区では産地が消失、三次市は現状不明である。全国的に見ても産地は少なく、今回の調査においても県内で 2 か所でしか確認されなかったことから、他のシャジクモ類と比べ、希少性の高い種であると思われる。
存在を脅かす要因・保全の留意点	ため池の水質変化、維持管理手法の変化や管理放棄により消失の恐れがある。
特記事項	—
産地情報	広島市（中区）、三原市（久井）、三次市（三次）、東広島市（西条）

環境省自然環境局野生生物課希少種保全推進室（編） 2015. レッドデータブック 2014 -日本の絶滅のおそれのある野生生物- 9 植物II（蘚苔類・藻類・地衣類・菌類）. 580pp. ぎょうせい, 東京.

絶滅危惧種の多様性情報学と域外保全技術開発：車軸藻類を例に 神戸大学 坂山英俊 平成 24 年度 環境研究総合推進費終了成果報告書 (RFd-1102), 2014 年 1 月 21 日公表, http://www.env.go.jp/policy/kenkyu/suishin/kadai/syuryo_report/h24/h24_suishin_report.html, 2020 年 10 月 30 日.

(半田信司・溝渕 綾)

ヒナフラスコモ 絶滅危惧Ⅱ類(VU) VU-②

Nitella gracillima Allen var. *gracillima*

車軸藻綱 シヤジクモ科

環境省: CR+EN

広島県 2011: NT

広島県 2003: なし

概要	藻体は6~10 cm と非常に小さく繊細である。卵胞子は明褐色で、卵胞子膜には乳頭状の突起がある。東アジアに分布し、日本の本州・四国・九州に生育する。生育環境はおもにため池・沼地で、初夏から秋にかけて繁茂する。1990年代までに全国で19か所から報告されているが、再調査された産地すべてにおいて生育が確認されていない。最近の調査では、新産地がいくつか報告されている。
生息・生育状況	ため池の浅瀬に小規模に生育している。
存在を脅かす要因・保全の留意点	ため池の水質変化、維持管理手法の変化や管理放棄により消失の恐れがある。
特記事項	—
産地情報	広島市(南区), 呉市(安浦), 三原市(久井), 福山市(沼隈), 東広島市(西条, 八本松), 世羅町(世羅)

環境省自然環境局野生生物課希少種保全推進室(編) 2015. レッドデータブック 2014 -日本の絶滅のおそれのある野生生物- 9 植物Ⅱ (蘚苔類・藻類・地衣類・菌類). 580pp. ぎょうせい, 東京.

笠井文絵・石本美和 2011. しゃじくもフィールドガイド. 独立行政法人国立環境研究所.

(半田信司・溝渕 綾)

アツカワオオイシソウ 準絶滅危惧(NT) NT-b

Compsopogon corticrassus Chihara & Tak.Nakam.

紅藻綱 オオイシソウ科

環境省: CR+EN

広島県 2011: NT

広島県 2003: なし

概要	藻体は青緑色の紐状で、主軸は太く直径2~3 mm程度、長さ80 cmに達する。群馬県・埼玉県・千葉県・広島県・宮崎県・鹿児島県で生育が確認され、オオイシソウ属としては唯一の日本固有種である。一年中水が涸れず、凍結しない小河川や水田灌漑用の水路に生育する。近年の都市化により生育地が減少、消失の傾向にある。
生息・生育状況	河川の平瀬の石礫上に生育する。今回確認された志と高屋では、小規模な群落を形成していた。オオイシソウの仲間は比較的多くみられるため、今後の調査により産地が増えるものと考えられる。
存在を脅かす要因・保全の留意点	生育場所の水質の変化や河川の維持管理等による周辺環境の変化により、消失の恐れがある。
特記事項	現在、日本産のオオイシソウ属 <i>Compsopogon</i> は、すべてオオイシソウ <i>Compsopogon caeruleus</i> (Balbis) Mont. にまとめられるとする見解 (Necchi et al. 2013, Carlile & Sherwood 2013) が主流となっているが、今回は環境省レッドリスト 2019 に従い、アツカワオオイシソウとして扱った。
産地情報	東広島市(志和, 高屋)

環境省自然環境局野生生物課希少種保全推進室(編) 2015. レッドデータブック 2014 -日本の絶滅のおそれのある野生生物- 9 植物Ⅱ (蘚苔類・藻類・地衣類・菌類). 580pp. ぎょうせい, 東京.

熊野 茂 2000. 世界の淡水産紅藻. 395 pp. 内田老鶴圃, 東京.

(半田信司・溝渕 綾)

イズミシノカワ 準絶滅危惧(NT) NT-b

Heribaudiella fluviatilis (Aresch.) Sved.

褐藻綱 ニセイシノカワ科

環境省: CR+EN

広島県 2011: NT

広島県 2003: なし

概要	藻体は淡褐色のほぼ円形の小斑点として現れ、やがて濃褐色の斑点となり、岩面をおおう。ヨーロッパ・アジアに分布し、日本では、各地の湧水や山地の溪流に紅藻類のタンスイベニマダラとともに広く生育する。水質汚濁には弱い。
生息・生育状況	山地性の河川に生育する。広島県内の2か所で確認されているが、今後の調査により産地が増えるものと思われる。
存在を脅かす要因・保全の留意点	生育場所の水質の変化や河川の維持管理等による周辺環境の変化により、消失の恐れがある。
特記事項	—
産地情報	広島市（安芸区、佐伯区）

環境省自然環境局野生生物課希少種保全推進室（編） 2015. レッドデータブック 2014 -日本の絶滅のおそれのある野生生物- 9 植物II（蘚苔類・藻類・地衣類・菌類）. 580pp. ぎょうせい, 東京.

（半田信司・溝渕 綾）

イトシャジクモ 準絶滅危惧(NT) NT-b

Chara fibrosa C.Agardh ex A.Bruzelius subsp. *gymnopitys* (A.Braun) Zaneveld

車軸藻綱 シャジクモ科

環境省: CR+EN

広島県 2011: AN

広島県 2003: なし

概要	藻体は40 cmまで生長し、主軸は細く2列性の皮層をもつ。托葉冠は1段で長く、その数は小枝の数と同程度から2倍程度におよぶ。輪生枝は皮層を欠き、特徴的な長い苞細胞をもつ。棘細胞は単独性、円錐形でよく発達する。卵胞子は橙色もしくは黒色。ヨーロッパを除く世界各地に分布し、日本では本州・四国・九州のため池に生育する。生育環境はおもにため池の水際で、水深の浅い部分に生育することが多い。
生息・生育状況	県内の広範囲にわたって確認されている。ため池の浅瀬から水深数mのところのところに生育し、ほかのシャジクモ類とともに確認されることが多い。
存在を脅かす要因・保全の留意点	ため池の水質変化、維持管理手法の変化や管理放棄により消失の恐れがある。
特記事項	—
産地情報	呉市（川尻）、三原市（大和、久井）、三次市（三次）、東広島市（西条、八本松）、世羅町（世羅西）

環境省自然環境局野生生物課希少種保全推進室（編） 2015. レッドデータブック 2014 -日本の絶滅のおそれのある野生生物- 9 植物II（蘚苔類・藻類・地衣類・菌類）. 580pp. ぎょうせい, 東京.

絶滅危惧種の多様性情報学と域外保全技術開発：車軸藻類を例に 神戸大学 坂山英俊 平成24年度 環境研究総合推進費終了成果報告書 (RFd-1102), 2014年1月21日公表, http://www.env.go.jp/policy/kenkyu/suishin/kadai/syuryo_report/h24/h24_suishin_report.html, 2020年10月30日.

（半田信司・溝渕 綾）

カタシャジクモ 準絶滅危惧(NT) NT-b

Chara globularis Thuill. var. *globularis*

車軸藻綱 シャジクモ科

環境省: CR+EN

広島県 2011: NT

広島県 2003: なし

概要	藻体は 60 cm 程度まで生長し、独特の臭いがある。主軸は細く三列性の皮層をもち、棘細胞は単性で球状。托葉冠は 2 段あり、球状または退化的。卵胞子は黒色。世界に広く分布し、日本各地に生育する。生育環境はおもにため池・湖沼で、初夏から秋にかけて繁茂する。1960 年代以降、生育可能な環境が減少しており、健全な個体群も減少傾向にあると考えられる。
生息・生育状況	確認されている産地は、ともに汽水性のため池であることから、生育環境は限定されると考えられる。
存在を脅かす要因・保全の留意点	多くのシャジクモ類とは異なり、汽水域を生育の場としている可能性があり、ため池の水質変化、維持管理手法の変化や管理放棄により消失の恐れがある。
特記事項	—
産地情報	呉市（安浦）、江田島市（大柿）

環境省自然環境局野生生物課希少種保全推進室（編） 2015. レッドデータブック 2014 -日本の絶滅のおそれのある野生生物- 9 植物Ⅱ（蘚苔類・藻類・地衣類・菌類）. 580pp. ぎょうせい, 東京.

笠井文絵・石本美和 2011. シャジクモフィールドガイド. 独立行政法人国立環境研究所.

(半田信司・溝渕 綾)

チャボフラスコモ 準絶滅危惧(NT) NT-b

Nitella acuminata A. Braun ex Wallman var. *capitulifera* (Allen) Imahori

車軸藻綱 シャジクモ科

環境省: CR+EN

広島県 2011: NT

広島県 2003: DD

概要	藻体は 20~70 cm。卵胞子は赤褐色または暗褐色で、らせん縁が顕著に見られる。卵胞子膜は平滑。東アジアに分布し、日本では本州・四国・九州に生育する。生育環境はおもに水田・水路・ため池で、初夏から秋にかけて繁茂する。最近、沖縄県や香川県の放棄水田で確認されているが、過去に記録されたいくつかの産地で生育が確認されていない。
生息・生育状況	西条の生育地はため池直下の水田で、シャジクモとともに小規模に生育している。
存在を脅かす要因・保全の留意点	水田の維持管理手法の変化や周辺環境の変化により、消失の恐れがある。
特記事項	—
産地情報	東広島市（西条、八本松）

環境省自然環境局野生生物課希少種保全推進室（編） 2015. レッドデータブック 2014 -日本の絶滅のおそれのある野生生物- 9 植物Ⅱ（蘚苔類・藻類・地衣類・菌類）. 580pp. ぎょうせい, 東京.

笠井文絵・石本美和 2011. シャジクモフィールドガイド. 独立行政法人国立環境研究所.

(半田信司・溝渕 綾)

ジュズフラスコモ 準絶滅危惧(NT) NT-b

Nitella axillaris A.Braun

車軸藻綱 シyajikomoko

環境省: CR+EN

広島県 2011: NT

広島県 2003: なし

概要	藻体は 20~50 cm。卵胞子は黄褐色から明褐色で、卵胞子膜は網目状。アジア・北米・南米に分布し、日本では本州・四国・九州に生育する。生育環境はおもに湖沼で、初夏から秋にかけて繁茂する。近年の湖沼環境の悪化によって、多くの地域で消失している可能性が高い。本種に似たものに、ミルフラスコモとレンリフラスコモがある。
生息・生育状況	本種の生育環境はおもに湖沼とされているが、県内では、水田や休耕田の染み出し水のある場所で確認されている。同様の環境で生育するシyajikomokoと異なり、出現頻度が非常に少ない。
存在を脅かす要因・保全の留意点	水田の維持管理手法の変化や周辺環境の変化により、消失の恐れがある。
特記事項	—
産地情報	広島市 (安佐南区, 安佐北区, 安芸区, 佐伯区), 呉市 (呉), 東広島市 (西条), 世羅町 (世羅)

環境省自然環境局野生生物課希少種保全推進室(編) 2015. レッドデータブック 2014 -日本の絶滅のおそれのある野生生物- 9 植物II (蘚苔類・藻類・地衣類・菌類). 580pp. ぎょうせい, 東京.

茨城県県民生活環境部自然環境課(編) 2020. 茨城における絶滅のおそれのある野生生物 蘚苔類・藻類・地衣類・菌類編 2020 年版 (茨城県版レッドデータブック). 147pp. 茨城県県民生活環境部自然環境課, 茨城.

(半田信司・溝渕 綾)

ミルフラスコモ 準絶滅危惧(NT) NT-b

Nitella axilliformis Imahori

車軸藻綱 シyajikomoko

環境省: CR+EN

広島県 2011: なし

広島県 2003: なし

概要	藻体は 15~30 cm, 不結実枝と結実枝は分化する。結実枝は間隔が狭くなった節部に輪生するため塊状に見え、不結実枝の基部につく。卵胞子は黄褐色から明褐色で、卵胞子膜は網目状。近縁種のジュズフラスコモとは卵胞子のサイズがやや大きいことで区別される。アジアに分布し、日本では、北海道以外に広く分布する。生育環境はおもに水田・水路で、初夏から秋にかけて繁茂する。水深が浅い環境を好む。
生息・生育状況	三次の生育地は水田のひよせで、ニッポンフラスコモやシyajikomokoとともに生育している。世羅の生育地では、休耕田の水たまりにわずかに生育しているのが確認された。
存在を脅かす要因・保全の留意点	水田の維持管理手法の変化や周辺環境の変化により、消失の恐れがある。
特記事項	—
産地情報	三次市 (君田), 世羅町 (世羅)

環境省自然環境局野生生物課希少種保全推進室(編) 2015. レッドデータブック 2014 -日本の絶滅のおそれのある野生生物- 9 植物II (蘚苔類・藻類・地衣類・菌類). 580pp. ぎょうせい, 東京.

絶滅危惧種の多様性情報学と域外保全技術開発: 車軸藻類を例に 神戸大学 坂山英俊 平成 24 年度 環境研究総合推進費終了成果報告書 (RFd-1102), 2014 年 1 月 21 日公表, http://www.env.go.jp/policy/kenkyu/suishin/kadai/syuryo_report/h24/h24_suishin_report.html, 2020 年 10 月 30 日.

(半田信司・溝渕 綾)

ヒメフラスコモ 準絶滅危惧(NT) NT-b

Nitella flexilis (L.) C.Agardh var. *flexilis*

車軸藻綱 シyajikモ科

環境省: CR+EN

広島県 2011: NT

広島県 2003: なし

概要	藻体は大型で、30 cm から時には 1 m にも生長する。卵胞子は暗赤褐色から黒色で、卵胞子膜は平滑状ないし粗い突起または顆粒がある。世界各地に分布し、日本では沖縄県を除く各地に生育する。生育環境はおもにため池・湖沼で、初夏から秋にかけて繁茂する。湖では他の水草とともに湖底をおおったり、シyajikモ帯を形成することがある。
生息・生育状況	水田では、シyajikモとともに小規模に生育しているが、同様の環境で生育するシyajikモと異なり出現頻度が非常に少ない。久井のため池では大群落を形成している。産地は多くはないが、県内の広範囲に生育している様子から、今後の調査により産地が増えるものと考えられる。
存在を脅かす要因・保全の留意点	水田やため池の水質変化、維持管理手法の変化や管理放棄により消失の恐れがある。
特記事項	—
産地情報	広島市 (安佐北区, 安芸区), 三原市 (久井), 三次市 (三次), 庄原市 (庄原, 東城), 東広島市 (西条)

環境省自然環境局野生生物課希少種保全推進室 (編) 2015. レッドデータブック 2014 -日本の絶滅のおそれのある野生生物- 9 植物II (蘚苔類・藻類・地衣類・菌類). 580pp. ぎょうせい, 東京.

笠井文絵・石本美和 2011.シyajikモフィールドガイド. 独立行政法人国立環境研究所.

(半田信司・溝渕 綾)

キヌフラスコモ 準絶滅危惧(NT) NT-b

Nitella gracilens Morioka

車軸藻綱 シyajikモ科

環境省: CR+EN

広島県 2011: AN

広島県 2003: DD

概要	藻体は 10~30 cm. 卵胞子は黄褐色でらせん縁が広く、卵胞子膜は非常に細かい規則的な顆粒状の模様がある。生育環境はおもにため池・湖沼で、ため池の底一面がキヌフラスコモでおおわれることがある。日本と中国に分布し、近年では香川県の多数のため池で確認されている。
生息・生育状況	過去の広島市安佐南区の現状は不明だが、その後三原市、三次市、東広島市で確認されている。
存在を脅かす要因・保全の留意点	ため池の水質変化、維持管理手法の変化や管理放棄により消失の恐れがある。
特記事項	—
産地情報	広島市 (安佐南区), 三原市 (久井), 三次市 (三次), 東広島市 (西条)

環境省自然環境局野生生物課希少種保全推進室 (編) 2015. レッドデータブック 2014 -日本の絶滅のおそれのある野生生物- 9 植物II (蘚苔類・藻類・地衣類・菌類). 580pp. ぎょうせい, 東京.

笠井文絵・石本美和 2011.シyajikモフィールドガイド. 独立行政法人国立環境研究所.

(半田信司・溝渕 綾)

ニッポンフラスコモ 準絶滅危惧(NT) NT-b

Nitella japonica Allen

車軸藻綱 シャジクモ科

環境省: CR+EN

広島県 2011: NT

広島県 2003: なし

概要	藻体は 15～30 cm で、主軸は太く 1 mm にもなる。卵胞子は黄褐色または褐色。卵胞子膜は円錐形の突起でおおわれており、網目状となるフタマタフラスコモと区別できる。東アジアに分布し、日本では本州・四国・九州に生育する。生育環境はため池や水田等で、初夏から秋にかけて繁茂し、水深が浅い環境を好む。近年では生育可能な水環境が減少しており、健全な個体群も減少傾向にあると考えられる。
生息・生育状況	県内では水田や水田脇の側溝、休耕田の水が染み出しているところで確認されている。同様の環境で生育するシャジクモと異なり、出現頻度が少ない。近年、確認地点が追加されており、今後の調査によりさらに増えるものと考えられる。
存在を脅かす要因・保全の留意点	水田の維持管理手法の変化や周辺環境の変化により、消失の恐れがある。
特記事項	—
産地情報	広島市（西区、安佐南区、安佐北区）、呉市（呉）、三原市（大和）、三次市（三次、君田）、庄原市（庄原）、東広島市（西条、八本松）、世羅町（世羅）

環境省自然環境局野生生物課希少種保全推進室（編） 2015. レッドデータブック 2014 -日本の絶滅のおそれのある野生生物- 9 植物II（蘚苔類・藻類・地衣類・菌類）. 580pp. ぎょうせい, 東京.

笠井文絵・石本美和 2011. シャジクモフィールドガイド. 独立行政法人国立環境研究所.

（半田信司・溝渕 綾）

セイロンフラスコモ 準絶滅危惧(NT) NT-b

Nitella megaspora (J.Groves) Sakayama

車軸藻綱 シャジクモ科

環境省: CR+EN

広島県 2011: AN

広島県 2003: なし

概要	藻体は 15～20 cm で、結実枝の先端部は厚い寒天質でおおわれている。卵胞子は暗褐色または黒色で、卵胞子膜は顆粒状。マダガスカルと日本に分布し、日本では本州・四国・九州に生育する。生育環境はおもにため池や沼地で、初夏から秋にかけて繁茂する。
生息・生育状況	過去の八本松の現状は不明だが、その後西条と世羅で確認されている。
存在を脅かす要因・保全の留意点	ため池の水質変化、維持管理手法の変化や管理放棄により消失の恐れがある。
特記事項	—
産地情報	東広島市（西条、八本松）、世羅町（世羅）

環境省自然環境局野生生物課希少種保全推進室（編） 2015. レッドデータブック 2014 -日本の絶滅のおそれのある野生生物- 9 植物II（蘚苔類・藻類・地衣類・菌類）. 580pp. ぎょうせい, 東京.

笠井文絵・石本美和 2011. シャジクモフィールドガイド. 17pp. 独立行政法人国立環境研究所.

（半田信司・溝渕 綾）

ホンフサラスコモ 準絶滅危惧(NT) NT-b

Nitella pseudoflabellata A.Braun var. *pseudoflabellata*

車軸藻綱 シyajikomoko

環境省: CR+EN

広島県 2011: AN

広島県 2003: DD

概要	藻体は 30 cm まで生長し、淡緑色ないし鮮緑色をしている。卵胞子は暗褐色で、卵胞子膜は顆粒状。光学顕微鏡で観察すると、卵胞子の表面に細かい粒が規則的に、コンパクトに詰まったように見え、これが本種の特徴である。東アジア・東南アジア・インド・オーストラリアに分布する。国内では本州・四国・九州での生育が確認されているが、近年の調査ではいくつかの生育地で生育が確認できなかった。生育環境はおもにため池・湖沼で、初夏から秋にかけて繁茂する。水深が浅いため池や沼地に生育する。
生息・生育状況	県内の広範囲にわたって確認されている。
存在を脅かす要因・保全の留意点	ため池の水質変化、維持管理手法の変化や管理放棄により消失の恐れがある。
特記事項	—
産地情報	三原市(久井), 三次市(三次), 庄原市(庄原), 東広島市(西条, 八本松), 世羅町(世羅)

絶滅危惧種の多様性情報学と域外保全技術開発: 車軸藻類を例に 神戸大学 坂山英俊 平成 24 年度 環境研究総合推進費終了成果報告書 (RFd-1102), 2014 年 1 月 21 日公表, http://www.env.go.jp/policy/kenkyu/suishin/kadai/syuryo_report/h24/h24_suishin_report.html, 2020 年 10 月 30 日.

環境省自然環境局野生生物課希少種保全推進室(編) 2015. レッドデータブック 2014 -日本の絶滅のおそれのある野生生物- 9 植物II (蘚苔類・藻類・地衣類・菌類). 580pp. ぎょうせい, 東京.

(半田信司・溝渕 綾)

ハデフラスコモ 準絶滅危惧(NT) NT-b

Nitella pulchella Allen

車軸藻綱 シyajikomoko

環境省: CR+EN

広島県 2011: NT

広島県 2003: DD

概要	藻体は 30 cm まで生長し、一部あるいは全体にわたって寒天質におおわれている。卵胞子は暗褐色で、卵胞子膜は明瞭な網目状。アジアに分布し、日本では本州・四国・九州に生育する。生育環境はおもにため池・湖沼で酸性の強い水質を好む。初夏から秋にかけて繁茂する。
生息・生育状況	県内のため池に生育するシyajikomoko類の中では、比較的多く確認される種である。浅瀬から水深数 m のところに群落を形成している。
存在を脅かす要因・保全の留意点	ため池の水質変化、維持管理手法の変化や管理放棄により消失の恐れがある。
特記事項	—
産地情報	三原市(久井), 福山市(沼隈), 三次市(三次, 三和), 庄原市(西城), 東広島市(西条, 八本松, 豊栄), 世羅町(世羅, 世羅西)

環境省自然環境局野生生物課希少種保全推進室(編) 2015. レッドデータブック 2014 -日本の絶滅のおそれのある野生生物- 9 植物II (蘚苔類・藻類・地衣類・菌類). 580pp. ぎょうせい, 東京.

笠井文絵・石本美和 2011. しyajikomoko フィールドガイド. 独立行政法人国立環境研究所.

(半田信司・溝渕 綾)

オオイシソウ属 情報不足(DD) DD-b

Compsopogon spp.

紅藻綱 オオイシソウ科

環境省: なし

広島県 2011: AN

広島県 2003: なし

概要	藻体は藍緑色や暗緑色で、10 cm 程度まで生長し、まばらに分枝した紐状をしている。河川の石や水草に付着する。
生息・生育状況	河川の橋の下や河床が樹木の枝などでおおわれ、多少日陰となる場所に生育しているのが確認されている。なお、目視情報のため正式な記録ではないが、広島市八幡川支流でも確認されている。
存在を脅かす要因・保全の留意点	河川の水質の変化や維持管理等による周辺環境の変化により、消失の恐れがある。
特記事項	国内のオオイシソウ属のさまざまな種は、「オオイシソウ」にまとめられるという見解（アツカワオオイシソウの項参照）から、今回、「オオイシソウ属」として記録したものは、今後「オオイシソウ」として扱われる可能性がある。
産地情報	東広島市（西条, 志和）

レッドデータブックひろしま改訂検討委員会（編） 2012. 広島県の絶滅のおそれのある野生生物（第3版）-レッドデータブックひろしま 2011-. 633pp. 広島県, 広島.

山岸高旺 2007. 淡水藻類 淡水産藻類属総覧. 1428 pp. 内田老鶴圃, 東京.

(半田信司・溝渕 綾)

ツマガロカワモズク 情報不足(DD) DD-a

Batrachospermum skujae Geitler

紅藻綱 カワモズク科

環境省: CR+EN

広島県 2011: AN

広島県 2003: なし

概要	藻体は長さ3~5 cm で、褐色を帯びたオリーブ色をしている。主軸には皮層があり、円筒形の細胞のみからなる。寒天質に包まれ、外観は数珠状の紐のようである。ヨーロッパ・東アジア・北アメリカの温帯域から亜寒帯域に分布している。日本では西日本に広く分布する。
生息・生育状況	Mori (1975) の報告があるのみで、県内の産地は限定的である。
存在を脅かす要因・保全の留意点	生育場所の水質の変化や河川の維持管理等による周辺環境の変化により、消失の恐れがある。
特記事項	—
産地情報	江田島市（能美）

Mori, M. 1975. Studies on the Genus *Batrachospermum* in Japan. J. Jap. Bot., 20(8): 461-484.

熊野 茂 2000. 世界の淡水産紅藻. 395 pp. 内田老鶴圃, 東京.

(半田信司・溝渕 綾)

ホソカワモズク 情報不足(DD) DD-b

Batrachospermum turfosum Bory
紅藻綱 カワモズク科

環境省: VU
広島県 2011: なし
広島県 2003: なし

概要	藻体はやや硬く、長さ 2.5~5 cm, 太さ 0.3~1 mm で、深緑色。本州各地に分布する。貧栄養の湧き水や、高層湿原の腐植栄養の水域に生育する。
生息・生育状況	池の湧き水がある部分にのみ、局所的に生育していた。
存在を脅かす要因・保全の留意点	周辺環境の変化や地形改変等による湧き水の消失により、消滅の恐れがある。
特記事項	—
産地情報	庄原市(東城)

熊野 茂 2000. 世界の淡水産紅藻. 395 pp. 内田老鶴圃, 東京.

環境省自然環境局野生生物課希少種保全推進室(編) 2015. レッドデータブック 2014 -日本の絶滅のおそれのある野生生物- 9 植物II (蘚苔類・藻類・地衣類・菌類). 580pp. ぎょうせい, 東京.

(半田信司・溝渕 綾)

カワモズク属 情報不足(DD) DD-b

Batrachospermum spp.
紅藻綱 カワモズク科

環境省: なし
広島県 2011: AN
広島県 2003: なし

概要	藻体は赤紫色や緑褐色で、2~10 cm 程度まで生長する。糸状で、主軸と周りへ放射状に伸びる輪生枝からなる。湧き水やそれに由来する水路などに生育する。
生息・生育状況	水路や山間の細流の付着性種として、県内においては一般的に見られる。今回確認された産地は2産地と少ないが、今後の調査により増えるものと考えられる。
存在を脅かす要因・保全の留意点	本種が生育する水路や山間の細流などが土地改修されることで、消失の恐れがある。
特記事項	—
産地情報	呉市(呉), 東広島市(西条), 熊野町

熊野 茂 2000. 世界の淡水産紅藻. 395 pp. 内田老鶴圃, 東京.

山岸高旺 2007. 淡水藻類 淡水産藻類属総覧. 1428 pp. 内田老鶴圃, 東京.

(半田信司・溝渕 綾)

ケナガシヤジクモ 情報不足(DD) DD-b

Chara fibrosa C.Agardh ex Bruzelius subsp. *benthamii* (A.Braun) Zaneveld
車軸藻綱 シヤジクモ科

環境省: CR+EN
広島県 2011: NT
広島県 2003: DD

概要	藻体は20～50 cmで、主軸は細く2列性の皮層をもつ。托葉冠は1段あり、輪生枝とほぼ同数。輪生枝は皮層を欠き、特徴的な長い苞細胞と棘細胞をもつ。卵胞子は黒色。アジア・オーストラリア・アフリカに分布し、日本各地に生育する。生育環境は湖沼・ため池・水田で、初夏から秋にかけて繁茂する。
生息・生育状況	広島市西区の産地は現状不明。
存在を脅かす要因・保全の留意点	ため池の水質変化、維持管理手法の変化や管理放棄により消失の恐れがある。
特記事項	レッドデータブックひろしま 2011 でケナガシヤジクモとしていたもののうちいくつかは、最近の報告によりイトシヤジクモとして報告されている。
産地情報	広島市(西区)

環境省自然環境局野生生物課希少種保全推進室(編) 2015. レッドデータブック 2014 -日本の絶滅のおそれのある野生生物- 9 植物II (蘚苔類・藻類・地衣類・菌類). 580pp. ぎょうせい, 東京.

茨城県県民生活環境部自然環境課(編) 2020. 茨城における絶滅のおそれのある野生生物 蘚苔類・藻類・地衣類・菌類編 2020年版(茨城県版レッドデータブック). 147pp. 茨城県県民生活環境部自然環境課, 茨城.

(半田信司・溝渕 綾)

コイトシヤジクモ 情報不足(DD) DD-a

Chara fibrosa C.Agardh ex Bruzelius subsp. *flaccida* (A.Braun) Zaneveld
車軸藻綱 シヤジクモ科

環境省: CR+EN
広島県 2011: AN
広島県 2003: なし

概要	藻体は40 cmまで生長し、主軸は細く複数列の皮層をもつ。托葉冠は1段あり、輪生枝の2倍数まで。輪生枝は皮層を欠き、卵胞子は赤褐色。アジア・アフリカ・北米に分布し、日本では北海道以外に生育する。生育環境はおもにため池で、初夏から秋にかけて繁茂する。過去の調査では多くの産地が報告されていたが、近年、ため池の環境の悪化によって、そのほとんどが消滅している可能性が高い。
生息・生育状況	八本松の現状は不明で、それ以降の報告もない。
存在を脅かす要因・保全の留意点	ため池の水質変化、維持管理手法の変化や管理放棄により消失の恐れがある。
特記事項	—
産地情報	東広島市(八本松)

今堀宏三 1954. 日本産輪藻類総説. 金沢大学, 234pp.

環境省自然環境局野生生物課希少種保全推進室(編) 2015. レッドデータブック 2014 -日本の絶滅のおそれのある野生生物- 9 植物II (蘚苔類・藻類・地衣類・菌類). 580pp. ぎょうせい, 東京.

(半田信司・溝渕 綾)

トガリフラスコモ 情報不足(DD) DD-b

Nitella acuminata A.Braun ex Wallman var. *subglomerata* (A.Braun) Allen

車軸藻綱 シヤジクモ科

環境省: CR+EN

広島県 2011: AN

広島県 2003: DD

概要	藻体は 15～30 cm。卵胞子は褐色または暗褐色で、卵胞子膜は微細な突起をもつ。アジア・北米・南米に分布し、日本では本州・四国・九州に生育する。生育環境はおもに水田・水路・沼地で、初夏から秋にかけて繁茂する。
生息・生育状況	過去に三次で確認されて以降、近年の記録はなく、県内での現状は不明である。
存在を脅かす要因・保全の留意点	ため池の水質変化、維持管理手法の変化や管理放棄により消失の恐れがある。
特記事項	—
産地情報	三次市（三次）

今堀宏三 1954. 日本産輪藻類総説. 金沢大学, 234pp.

環境省自然環境局野生生物課希少種保全推進室（編） 2015. レッドデータブック 2014 -日本の絶滅のおそれのある野生生物- 9 植物II（蘚苔類・藻類・地衣類・菌類）. 580pp. ぎょうせい, 東京.

（半田信司・溝渕 綾）

ジュズフサフラスコモ 情報不足(DD) DD-b

Nitella comptonii J.Groves

車軸藻綱 シヤジクモ科

環境省: CR+EN

広島県 2011: なし

広島県 2003: なし

概要	藻体は 10～30 cm 程度で、結実子が球状に連なって、数珠状に見える。卵胞子は暗褐色で、卵胞子膜は顆粒状。光学顕微鏡で観察すると、卵胞子の表面に細かい顆粒状の模様が見える。ニューカレドニア・オーストラリア・日本に分布する。国内では沖縄・四国で確認されているが、近年の調査ではいくつかの生育地で生育が確認できていない。生育環境はおもにため池・沼地で、初夏から秋（沖縄では秋～春にも）にかけて繁茂する。
生息・生育状況	公園内の管理されたため池に生育している。
存在を脅かす要因・保全の留意点	ため池の水質の悪化や藻食性魚類の増加、維持管理方法の変化などにより、消失の恐れがある。
特記事項	—
産地情報	東広島市（西条）

絶滅危惧種の多様性情報学と域外保全技術開発：車軸藻類を例に 神戸大学 坂山英俊 平成 24 年度 環境研究総合推進費終了成果報告書 (RFd-1102), 2014 年 1 月 21 日公表, http://www.env.go.jp/policy/kenkyu/suishin/kadai/syuryo_report/h24/h24_suishin_report.html, 2020 年 10 月 30 日.

環境省自然環境局野生生物課希少種保全推進室（編） 2015. レッドデータブック 2014 -日本の絶滅のおそれのある野生生物- 9 植物II（蘚苔類・藻類・地衣類・菌類）. 580pp. ぎょうせい, 東京.

（半田信司・溝渕 綾）

ミキフラスコモ 情報不足(DD) DD-b

Nitella furcata (Roxburgh ex Bruzelius) C.Agardh var. *zollingeri* (A.Braun) Zaneveld

車軸藻綱 シャジクモ科

環境省: CR+EN

広島県 2011: AN

広島県 2003: なし

概要	藻体は20 cmまで生長する。卵胞子は明褐色で、卵胞子膜は網目状。フタマタフラスコモに似るが、本変種は卵胞子の長さが260 μm程度にしかならない。アジア・オーストラリアに分布し、日本では本州・四国に生育する。生育環境はおもにため池で、初夏から秋にかけて繁茂する。近年の調査ではまったく確認されておらず、ため池の環境の悪化によって消滅している可能性が高い。
生息・生育状況	過去に八本松で確認されて以降、近年の記録はなく、県内での現状は不明である。
存在を脅かす要因・保全の留意点	ため池の水質変化、維持管理手法の変化や管理放棄により消失の恐れがある。
特記事項	—
産地情報	東広島市（八本松）

今堀宏三 1954. 日本産輪藻類総説. 金沢大学, 234pp.

環境省自然環境局野生生物課希少種保全推進室（編） 2015. レッドデータブック 2014 -日本の絶滅のおそれのある野生生物- 9 植物II（蘚苔類・藻類・地衣類・菌類）. 580pp. ぎょうせい, 東京.

（半田信司・溝渕 綾）

ホソバフラスコモ 情報不足(DD) DD-b

Nitella graciliformis J.Groves

車軸藻綱 シャジクモ科

環境省: CR+EN

広島県 2011: AN

広島県 2003: DD

概要	藻体は太く、20～30 cm。卵胞子は黄褐色ないし暗褐色で、卵胞子膜は網目状。日本とマダガスカルに分布し、日本では本州南部・四国・九州に生育する。生育環境はおもに水田やため池で、比較的温暖な時期に繁茂する。最近の調査ではまったく確認されていない。
生息・生育状況	八本松の現状は不明。その後安佐南区で確認されて以降、近年の記録はない。
存在を脅かす要因・保全の留意点	ため池や水田の水質変化、維持管理手法の変化や管理放棄により消失の恐れがある。
特記事項	—
産地情報	広島市（安佐南区）、東広島市（八本松）

今堀宏三 1954. 日本産輪藻類総説. 金沢大学, 234pp.

環境省自然環境局野生生物課希少種保全推進室（編） 2015. レッドデータブック 2014 -日本の絶滅のおそれのある野生生物- 9 植物II（蘚苔類・藻類・地衣類・菌類）. 580pp. ぎょうせい, 東京.

（半田信司・溝渕 綾）

キヌイトフラスコモ 情報不足(DD) DD-b

Nitella gracilis (Smith) C.Agardh
車軸藻綱 シヤジクモ科

環境省: CR+EN
広島県 2011: AN
広島県 2003: なし

概要	藻体は 20～30 cm。卵胞子は明褐色から暗褐色、卵胞子膜は繊維状。世界各地に分布し、日本では、本州・四国・九州に生育する。生育環境はおもにため池で、初夏から秋にかけて繁茂する。1950 年代までに全国 13 か所から報告されているが、最近の報告例はきわめて少ない。
生息・生育状況	過去に確認された県内での現状は不明で、その後の報告もない。
存在を脅かす要因・ 保全の留意点	ため池の水質変化、維持管理手法の変化や管理放棄により消失の恐れがある。
特記事項	—
産地情報	呉市（川尻）、東広島市（八本松）

今堀宏三 1954. 日本産輪藻類総説. 金沢大学, 234pp.

環境省自然環境局野生生物課希少種保全推進室（編） 2015. レッドデータブック 2014 -日本の絶滅のおそれのある野生生物- 9 植物Ⅱ（蘚苔類・藻類・地衣類・菌類）. 580pp. ぎょうせい, 東京.

（半田信司・溝渕 綾）

フラスコモダマシ 情報不足(DD) DD-b

Nitella imahorii R.D.Wood
車軸藻綱 シヤジクモ科

環境省: CR+EN
広島県 2011: AN
広島県 2003: DD

概要	藻体は 20 cm まで生長する。塊状になった結実枝は寒天質でおおわれることがあり、主軸の先端または不結実枝の基部につく。雄器は柄をもつ。卵胞子は明褐色から褐色で、卵胞子膜は繊維状。東アジアに分布し、日本では北海道・本州に生育する。生育環境はおもにため池・水田・水路・湧水地で、秋から冬にかけて繁茂する場合や、初夏から秋にかけて繁茂する場合がある。
生息・生育状況	過去に確認された県内での現状は不明だが、その後新たな産地報告がある。
存在を脅かす要因・ 保全の留意点	ため池の水質変化、維持管理手法の変化や管理放棄により消失の恐れがある。
特記事項	—
産地情報	三次市（三次）、東広島市（八本松）、廿日市市（宮島）

今堀宏三 1954. 日本産輪藻類総説. 金沢大学, 234pp.

環境省自然環境局野生生物課希少種保全推進室（編） 2015. レッドデータブック 2014 -日本の絶滅のおそれのある野生生物- 9 植物Ⅱ（蘚苔類・藻類・地衣類・菌類）. 580pp. ぎょうせい, 東京.

（半田信司・溝渕 綾）

サキボソフラスコモ 情報不足(DD) DD-b

Nitella mucronata (A.Braun) Miquel
車軸藻綱 シャジクモ科

環境省: CR+EN
広島県 2011: AN
広島県 2003: なし

概要	藻体は 15～30 cm, 最終枝に微突形ですどく尖った終端細胞をもつことが特徴である。卵胞子は暗褐色から黒色で, 卵胞子膜は網目状。世界各地に分布し, 日本では本州・四国・九州に生育する。生育環境は, おもに水路・沼地・水田で, 初夏から秋にかけて繁茂する。水深が浅い環境を好む。1954 年の調査では 16 か所の報告があるが, 最近の再調査では数地点でしか確認されていない。
生息・生育状況	過去の西区の現状は不明だが, 最近の調査では, 世羅町で確認されている。
存在を脅かす要因・保全の留意点	ため池や水田の水質変化, 維持管理手法の変化や管理放棄により消失の恐れがある。
特記事項	—
産地情報	広島市 (西区), 世羅町 (世羅)

今堀宏三 1954. 日本産輪藻類総説. 金沢大学, 234pp.

絶滅危惧種の多様性情報学と域外保全技術開発: 車軸藻類を例に 神戸大学 坂山英俊 平成 24 年度 環境研究総合推進費終了成果報告書 (RFd-1102), 2014 年 1 月 21 日公表, http://www.env.go.jp/policy/kenkyu/suishin/kadai/syuryo_report/h24/h24_suishin_report.html, 2020 年 10 月 30 日.

(半田信司・溝渕 綾)

ミゾフラスコモ 情報不足(DD) DD-b

Nitella oligospira A.Braun
車軸藻綱 シャジクモ科

環境省: CR+EN
広島県 2011: AN
広島県 2003: なし

概要	藻体は 25 cm まで生長する。卵胞子は明褐色または黄褐色で, 卵胞子膜は表面の突起がつながり, 網目状に見える。世界各地に分布し, 日本では本州・四国・九州に生育する。生育環境はおもに水路・ため池で, 初夏から秋にかけて繁茂する。水深が浅い環境を好む。1954 年の調査では 11 か所から報告されているが, 最近の調査ではまったく確認されていない。
生息・生育状況	過去に三次と宮島で確認されて以降, 近年の記録はなく, 県内での現状は不明である。
存在を脅かす要因・保全の留意点	ため池や水田の水質変化, 維持管理手法の変化や管理放棄により消失の恐れがある。
特記事項	—
産地情報	三次市 (三次), 廿日市市 (宮島)

今堀宏三 1954. 日本産輪藻類総説. 金沢大学, 234pp.

環境省自然環境局野生生物課希少種保全推進室 (編) 2015. レッドデータブック 2014 -日本の絶滅のおそれのある野生生物- 9 植物II (蘚苔類・藻類・地衣類・菌類). 580pp. ぎょうせい, 東京.

(半田信司・溝渕 綾)

ミノフサフラスコモ 情報不足(DD) DD-b

Nitella pseudoflabellata A.Braun var. *mucosa* (Nordst.) F.M.Bailey

車軸藻綱 シヤジクモ科

環境省: CR+EN

広島県 2011: AN

広島県 2003: DD

概要	藻体は 20 cm 程度, 先端の若い部分は厚い寒天質で覆われている。卵胞子は暗褐色で, 卵胞子膜は乳頭状または虫様の模様をもつ。アジア・オセアニアに分布し, 国内では本州・四国・九州に生育する。生育環境は, おもにため池, 湖沼で初夏から秋にかけて繁茂する。最近の調査において過去に記録された産地で生育が確認されず, 消滅している可能性が高い。
生息・生育状況	過去に八本松で確認されて以降, 近年の記録はなく, 県内での現状は不明である。
存在を脅かす要因・ 保全の留意点	ため池の水質変化, 維持管理手法の変化や管理放棄により消失の恐れがある。
特記事項	—
産地情報	東広島市 (八本松)

今堀宏三 1954. 日本産輪藻類総説. 金沢大学, 234pp.

環境省自然環境局野生生物課希少種保全推進室 (編) 2015. レッドデータブック 2014 -日本の絶滅のおそれのある野生生物- 9 植物II (蘚苔類・藻類・地衣類・菌類). 580pp. ぎょうせい, 東京.

(半田信司・溝渕 綾)

サイトウフラスコモ 情報不足(DD) DD-b

Nitella rigida Allen f. *saitoiana* (Allen) R.D.Wood

車軸藻綱 シヤジクモ科

環境省: CR+EN

広島県 2011: AN

広島県 2003: なし

概要	藻体は 20~30 cm. 卵胞子は黄褐色で, 卵胞子膜には乳頭状の突起がある。東アジアに分布し, 日本では北海道と本州に生育する。生育環境はおもにため池・湖沼で, 初夏から秋にかけて繁茂する。1954 年の調査では, 全国 5 か所から報告されていたが, 再調査された 1 産地では生育が確認されなかった。報告が少ない種であり, 近年多くの地域で消滅している可能性が高い。
生息・生育状況	過去に沼隈で確認されて以降, 近年の記録はなく, 県内での現状は不明である。
存在を脅かす要因・ 保全の留意点	ため池の水質変化, 維持管理手法の変化や管理放棄により消失の恐れがある。
特記事項	—
産地情報	福山市 (沼隈)

今堀宏三 1954. 日本産輪藻類総説. 金沢大学, 234pp.

環境省自然環境局野生生物課希少種保全推進室 (編) 2015. レッドデータブック 2014 -日本の絶滅のおそれのある野生生物- 9 植物II (蘚苔類・藻類・地衣類・菌類). 580pp. ぎょうせい, 東京.

(半田信司・溝渕 綾)